

ロジスティクス環境会議  
第7回共通基盤整備委員会

2005年1月20日(木)15:00~17:00  
(社)日本ロジスティクスシステム協会 会議室

次 第

1. 開 会

2. 議 事

- 1) セミナーについて
- 2) 研究会について
- 3) その他

3. 閉 会

【配布資料】

- 資料1 : 第1回セミナープログラム構成案  
参考資料1 : 通基盤整備委員会の活動内容  
参考資料2 : 第6回委員会議事録

以 上

第1回グリーンロジスティクスセミナー（仮称）

プログラム構成（案）

1. 日 時：2005年2月下旬 13:30～17:00
2. 会 場：全共連ビル（予定）
3. 対 象：環境会議メンバー
4. 参加費：15,000円（税込）／1名
5. プログラム構成：

13:30～13:35 (5分)	開 会 津久井 英喜氏 ロジスティクス環境会議 共通基盤整備委員会 委員長 ／諏訪東京理科大学 経営情報学科 教授
13:35～14:35 (60分)	講演1：「トラックに関する環境対応の動向」（仮） ・CNG ・ハイブリット ・その他  講師候補： ・(財)日本自動車研究所 ・(社)自動車技術会 ・その他
14:35～14:45	休 憩
14:45～15:45 (60分)	講演2：「海外における環境政策と企業の対応」（仮）  ※欧米 講師候補：鈴木 邦成 氏 文化女子大学 講師
15:45～16:00	休 憩
16:00～17:00 (60分)	講演3：「環境活動の展開と情報技術の活用」（仮） ・デジタルタコグラフの有効活用による環境負荷低減と物流品質向上  講師候補： ・(株)シーエックスカーゴ（生協連、埼玉県） ・(株)井ノ瀬運送 ・(株)ジェイアール東日本物流 ・その他
	閉 会

## 共通基盤整備委員会の活動内容

### 1. 活動方針

環境会議及び各委員会の円滑かつ効果的な活動を支える共通的な「情報資源」を整備し、アウトプットは原則として全て公開する。

### 2. 活動内容

- 1) 物流・ロジスティクスの視点から、既存の用語集等には抜けている環境に関する用語を収集し、用語集として整備する。
- 2) 行政、自治体、産業界、学界、団体等の情報を収集、整備する。
  - ・行政、自治体の法制度や規制値、条例、目標値および各種インセンティブ等
  - ・企業の環境報告書（ホームページ・印刷物）
  - ・学界、団体、大学、自治体の研究
  - ・環境に関する書籍
- 3) 環境に関する国際動向（行政、自治体、企業の先進事例等）の調査を行う。
  - ・環境対応の先進諸国や日本企業が進出している中国等についても、大使館や日本の出先機関等から情報を収集、整理した後、海外調査団等による調査を検討
  - ※ J I L S 主催の訪欧・米調査団のミッションに上記内容を盛り込むことも検討
- 4) 先端技術等の動向を把握し、委員会横断的なセミナーや勉強会を開催する。

### 3. アウトプット(成果)

- 1) 環境に関する用語集・・・・・・・・・・2004年4月より適宜公開  
※物流・ロジスティクスの視点から見た環境用語集
- 2) 行政、自治体、産業界、学界、団体等のリンク集・・・・2004年7月より適宜公開
- 3) 環境に関する国際動向の調査報告・・・・・・・・適宜実施  
※行政、自治体、企業の先進事例等

以 上

## ロジスティクス環境会議

## 第 6 回 共通基盤整備委員会 議事録

I. 日 時：2004年11月11日（木） 16:00～17:00

II. 場 所：東京・港区（社）日本ロジスティクスシステム協会 会議室

III. 出席者：7名

IV. 議 案：

- 1) セミナーについて
- 2) 研究会について
- 3) その他

V. 開 会

定刻、津久井委員長により、開会が宣された。

VI. 議事の経過

1. 議 事

津久井委員長の司会進行のもと、以下のような議事が行われた。

1) セミナーについて【資料 1】

事務局より、資料 1 に基づき、第 1 回セミナーのプログラム構成原案について説明が行われた後、以下のような意見交換がなされた。

【意見交換の主な内容】

【委 員】セミナーの参加対象者としては、先進企業ではなく、これから取り組みを行う方々に設定すべきではないか。

【委 員】プログラムとしては、共同化や輸送効率によって二酸化炭素を中心とした環境負荷を削減している事例を入れても良いのではないか。

2) 研究会について【資料 2】

事務局より、資料 2 に基づき、今後の研究会について説明が行われた後、以下のような意見交換がなされた。

【委 員】次回の第 3 回目は、企業人の方からお話しいただいた方が良いのではないか。

【委 員】第 4 回目に津久井先生にお話しいただき、それ以降は資料中の内容を中心に検討していけば良いのではないか。

以上のような意見交換を踏まえ、セミナーおよび研究会については、引き続き次回の第7回委員会において、具体的な検討を行うことが確認された。

※第3回研究会は日本ロジテム㈱の三浦氏にご発表いただくことが確認された。

3) 今後のスケジュールについて

第7回委員会は、以下のとおり開催することが確認された。

■日時：12月9日（木）15－17時

■会場：JILS会議室

※都合により、1月に延期いたしました。

2. 閉 会

以上をもって全ての議事を終了し、津久井委員長は閉会を宣した。

以 上